

# 所沢東ロータリークラブ 週報臨時3号

下半期事業計画 臨時号 2月4日



## ■会員組織委員会

会員増強は、コロナ禍の中で入会対象者にも会えず厳しい状態ですが、メールや電話で対象者にアプローチしていきたいと思っています。

会員研修については、緊急事態宣言が解除され4月～6月のいずれかの月に入会3年未満を対象とした会員研修を行いたいと考えています。下半期もよろしくお願ひいたします。

委員長 野藤 修三

## ■クラブ奉仕委員会

委員長 井川 和豊

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひ致します。

クラブ奉仕委員会からの事業計画となります。コロナ禍ということもあり、又緊急事態宣言がどこまで続くかわからない状況の中、例会もいつ再開出来るようになるかわからない状況です。そこで例会企画では、オンライン等を利用した例会なども挑戦をしていけたらと考えています。なかなか直接会えずとも、どうしたら会員が繋がっていけるか?という工夫をしていけたらと思います。

親睦委員会からは、親睦旅行やクリスマス例会に続き、新年会も中止ということで、今年度は親睦行事が出来ていない状況ですので、大変に寂しいですが、希望としてはコロナ沈静後6月頃にはクラブ旅行に行きたいと考えております。

会報広報委員会としては、引き続き週報を充実していきます。こんな時だからこそ週報を通して、会員同士が繋がりを感じられるよう努めて参ります。

下半期も何卒宜しくお願ひ致します。

## ■職業奉仕委員会

委員長 塩尻 繁

### 1. 基本方針

職業奉仕は、事業及び専門職務の道徳水準を高め、品位ある業務はすべて尊重あるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していく目的を持つものである。そのためロータリーの基本である「四つのテスト」を実践して会員同士が自己を高め、一層の「高潔」を持って活動を行う。

### 2. 活動方針及び活動計画

#### ①「四つのテスト」の唱和（基本第1例会）

隔月毎に齊唱と唱和 ※但しコロナ禍で飛沫防止の必要時は声を出さずに心の中で

#### ②各会員の職業PR及び卓話

#### ③地区の職業奉仕のセミナーへの参加

## ■社会・青少年奉仕委員会

委員長 野本 俊光

コロナ禍がおさまらないと活動も満足にできませんが、状況に対応した活動を工夫することが重要であると考えます。ネットを活用した情報の発信や収集を今こそ考えるときであります。

各委員会においては、クラブのホームページの活用、LINEによるインタークト等との交流、他クラブの活動状況の把握等を進め、コロナ後の活動の準備を行っていきたいと思います。

## ■国際奉仕委員会

委員長 長内 英俊

国際奉仕委員会として、下半期最大のイベントである「所沢市民文化フェアの綿菓子販売」が、既にご承知のとおりコロナ感染予防の観点から中止となってしまいました。このイベントは会員の皆様と力を合わせて奉仕の活動をする最適な場であり、またコミュニケーションを取る意味でも大事なイベントでした。とても残念に思います。

下半期国際奉仕委員会としては、ロータリー財団委員会より一人100ドル(10,400円)、米山獎

学会記念委員会より一人10,000円の寄付を会員の皆様にご理解をいただき、お願ひしたいと思っております。残された期間は国際奉仕委員会として、他の委員会とも協力、連携し、このコロナ過で出来る事を行って参りたく存じます。